

明るく元気の出るICT社会実現に向けた ビジョン提言

平成21年1月9日



幹事会議長 滝澤 光樹

社団法人テレコムサービス協会について



社団法人 テレコムサービス協会
TELECOM SERVICES ASSOCIATION

○沿革

平成6年に、(社)特別第二種電気通信事業者協会、全国一般第二種電気通信事業者協会、音声V A N振興協議会、(社)日本情報通信振興協会の4団体が統合し発足。

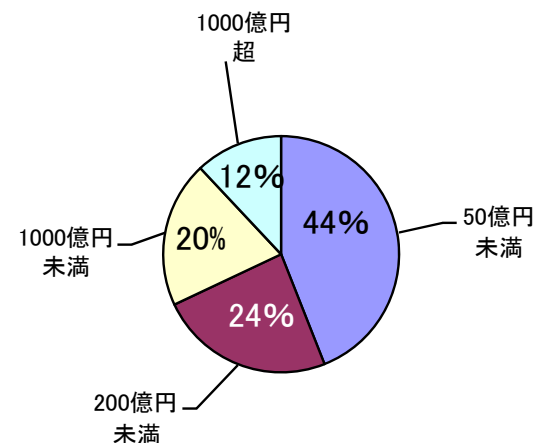
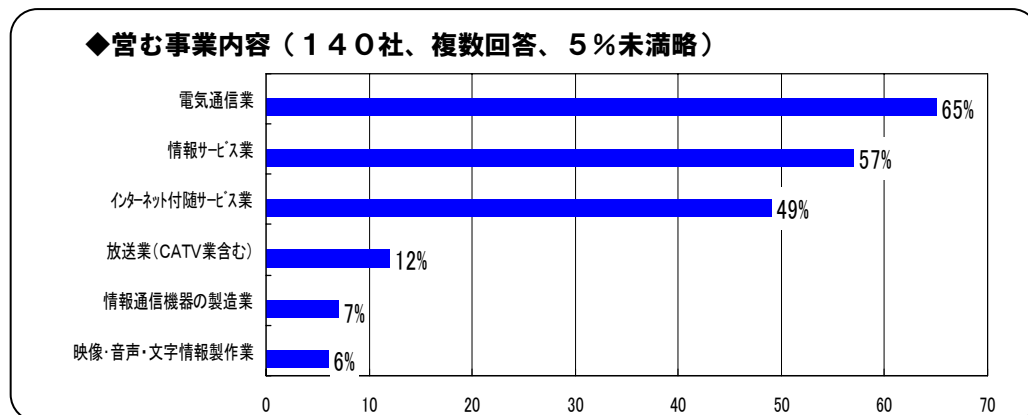
○事業目的と主な活動

- ・目的：電気通信・情報通信関連事業の競争市場における健全な発展を図り、事業全体の発展に寄与し、国民利益の増進と公共の福祉に資すること
- ・主な活動：①多様なネットワークサービス事業の創設 ②健全な競争市場の発展 ③安全・安心なネットワーク社会の実現

○会員

- ・全国11支部に290会員が加盟(平成20年12月16日現在)
- ・電気通信事業(V A Nサービス)、情報サービス事業、I S P事業、C A T V事業など通信回線設備を持たない事業者が中心

◆年間売上高規模(137社)



明るく元気の出るICT社会実現に向けたビジョン提言

しっかりした業界インフラと風土作りが大切である。
(ICTマインドの醸成と高揚)

サービスインフラの強化

技術者がいきいきと働ける業界である

- 3K/7Kイメージの払拭
- 運用技術者の雇用促進

世界一のサービス品質がグローバルに認知される

- サービス品質、顧客満足度の「見える化」、「可視化」

グローバルビジネス拡大への基礎固め

我が国の主要ベンダー、キャリアが、グローバルにビジョン発信を行い、技術・商品開発力もNO.1である

- グローバルにトップ自らビジョンを発信しビジネスを具体化する力

ベンチャー企業が思いっきり技術、商品、サービス開発ができ、グローバルにビジネス展開ができる

- グローバル経営の能力保持者の活躍の場形成
- 投資家、VCの改革

民間企業の活性化

多くのプレイヤーが多様なサービスを構築し競い合う

- ネットワークのオープン化推進
- インフラとサービスの構造分離

地域産業、地場企業が元気

- ICT活用によるビジネス拡大支援

公的インフラの強化

行政は、ICT分野での高度で、強力な総合的施策立案機能を保有している

- 縦割り行政からの脱皮

我が国として全体最適な公的システムが構築、運用されている

- 国レベルの全体最適化

技術者がいきいきと働ける業界である

サービスインフラの強化

システム運用における課題の顕在化

- 日々、システム稼働数が増加
- データセンターの新設増加
- システムの高度化から、内容を理解している技術者自身が運用も担当
- 単純な一次運用のできるシステム構築に投資予算が配分されず
- 稼働システムのトラブル増加の一因
- 運用技術者の人材不足が顕著に
- 運用技術者はソフト開発者よりも低位に評価されがち
- 3K/7Kの業界イメージも就業者が伸びない一因

システム運用の簡易化、高機能化促進

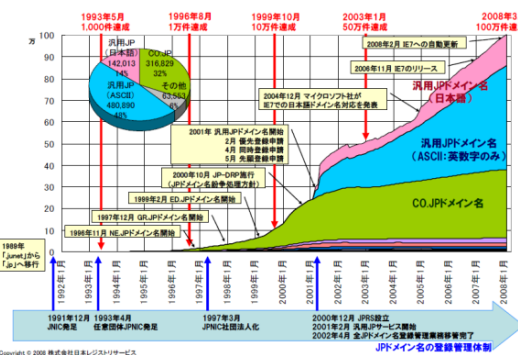
- ユーザー企業に対する啓蒙活動
- システム運用高度化への研究開発促進

運用技術者の雇用促進

- 他産業からの余剰人員のシフト
- 海外技術者の雇用

業界のイメージアップは他のビジョン実現と一体で

■ JPDメイン名の登録数推移とサービスの沿革

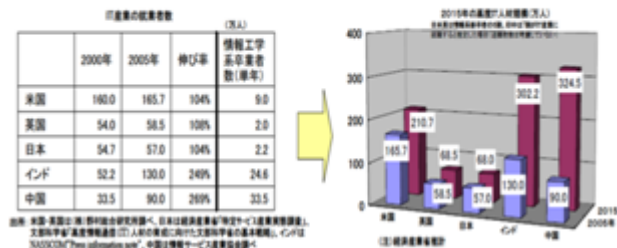


株式会社日本レジストリサービス資料

	情報サービス業務従事者数 (平成17年国勢調査より推計)		うち基礎	うち高度	高度比率
	注1	構成比			
ストラテジスト(戦略企画)	56,677	6.7%	32,192	24,484	43.2%
アーキテクト・デザイン(設計)	182,672	21.5%	132,437	50,235	27.5%
プロジェクトマネージャ	60,147	7.1%	42,765	17,382	28.9%
テクニカルスペシャリスト	318,943	37.5%	288,112	30,831	9.7%
品質マネジメント	4,469	0.5%	3,830	639	14.3%
運用マネジメント	121,821	14.3%	117,497	4,325	3.6%
クリエイター	29,798	3.5%	24,747	5,051	17.0%
その他	74,973	8.8%	49,882	25,091	33.5%
合計	849,500	100.0%	691,463	158,039	18.6%

(注1) 「平成17年国勢調査」に、「平成18年度情報処理技術者試験統計」による業務別構成比を用いて推計
(注2) 「ITpro 1万人調査」(05年1月、日経BP社)の基礎人材と高度人材の割合を用いて推計

各国のIT産業における就業者数



「高度IT人材の育成を目指して」
産業構造審議会報告書資料

世界一のサービス品質がグローバルに認知される

サービスインフラの強化

ISO9002, SLAなどが品質保証のグローバル基準

実際のサービスにおける品質は顧客満足度との相関

我が国のサービス品質は世界一と言われるが、可視化されていない。

- 開通に至るまでの事業者とお客様とのコミュニケーションの質
特に無償範囲でのサポート内容
- トラブル時の事業者とお客様とのコミュニケーションの質
- 「海外キャリア、SIerで現在に至るまで、日本で成功した企業はない」と言われるのもその証か？
- 一方で、お客様がその品質に慣れっこになっている



我が国の実体サービス品質を「見える化」し、日本の品質をグローバルに発信！

我が国の主要ベンダー、キャリアが、グローバルに ビジョン発信を行い、技術・商品開発力もNO.1である

グローバルビジネス
拡大への基礎固め

日本の主要ベンダー、キャリアのトップが、どうしてグローバルにビジョン発信できないのだろうか？
技術力だけを見れば、むしろ日本のほうが進んでいるのに！



ICTマインドの醸成・高揚

① 日本のトップ自らが、
「自社の技術、商品、サービスを持って、社会をこう変えてゆきたい」
とのメッセージをグローバルに発信しよう！

② 我が国の施策実行においても、トップリーダーのもと、
産学官ベクトルを合わせて展開できるプロモーションスタイルを採ってみよう！

(例)  みんなで止めよう温暖化 <http://www.team-6.jp>へどうぞ
チーム・マイナス6%

③ 目標、ビジョンを持ち、ベクトルを合わせ、
我が国のICT関連研究者の母集団を強化しよう！

ベンチャー企業が思いっきり技術、商品、サービス開発ができ、 グローバルにビジネス展開ができる

グローバルビジネス
拡大への基礎固め

我が国のVCの資金力は欧米と比較し非常に小さい

その結果、技術開発、商品開発に十分投資できないまま、つぶれてゆく企業も多い。
また、グローバルなビジネス展開も、投資規模と、人材の能力から挑戦できない企業がほとんどである。

VC業界のグローバル化も遅れている

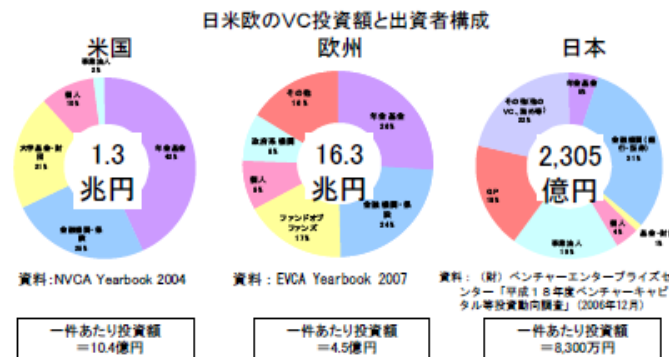


投資家、VCの意識改革も含め、
能力の高いベンチャー企業には
徹底して相応の投資を！

グローバル経営、グローバル展開の
能力保持者の活躍の場形成

課題4. 資金力に乏しいベンチャーキャピタル

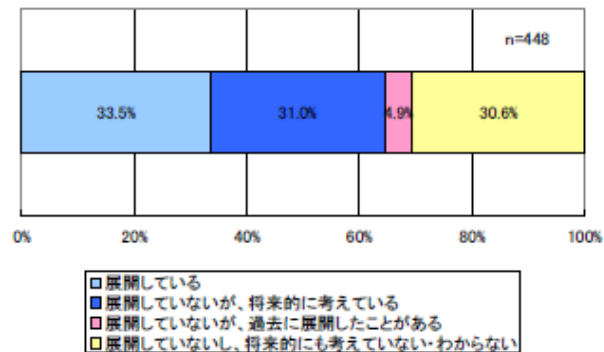
日本のベンチャーキャピタル業界の投資規模は、欧米の5分の1以下。投資先一件あたりの投資額も小さく、世界級ベンチャーの不在や小型上場の原因にもなっている。



課題2. グローバル級ベンチャー企業の不在

大企業もベンチャー企業も、世界第二位の経済力と1億2千万人の市場に安住。日本のベンチャー企業で海外展開している企業は1/3。

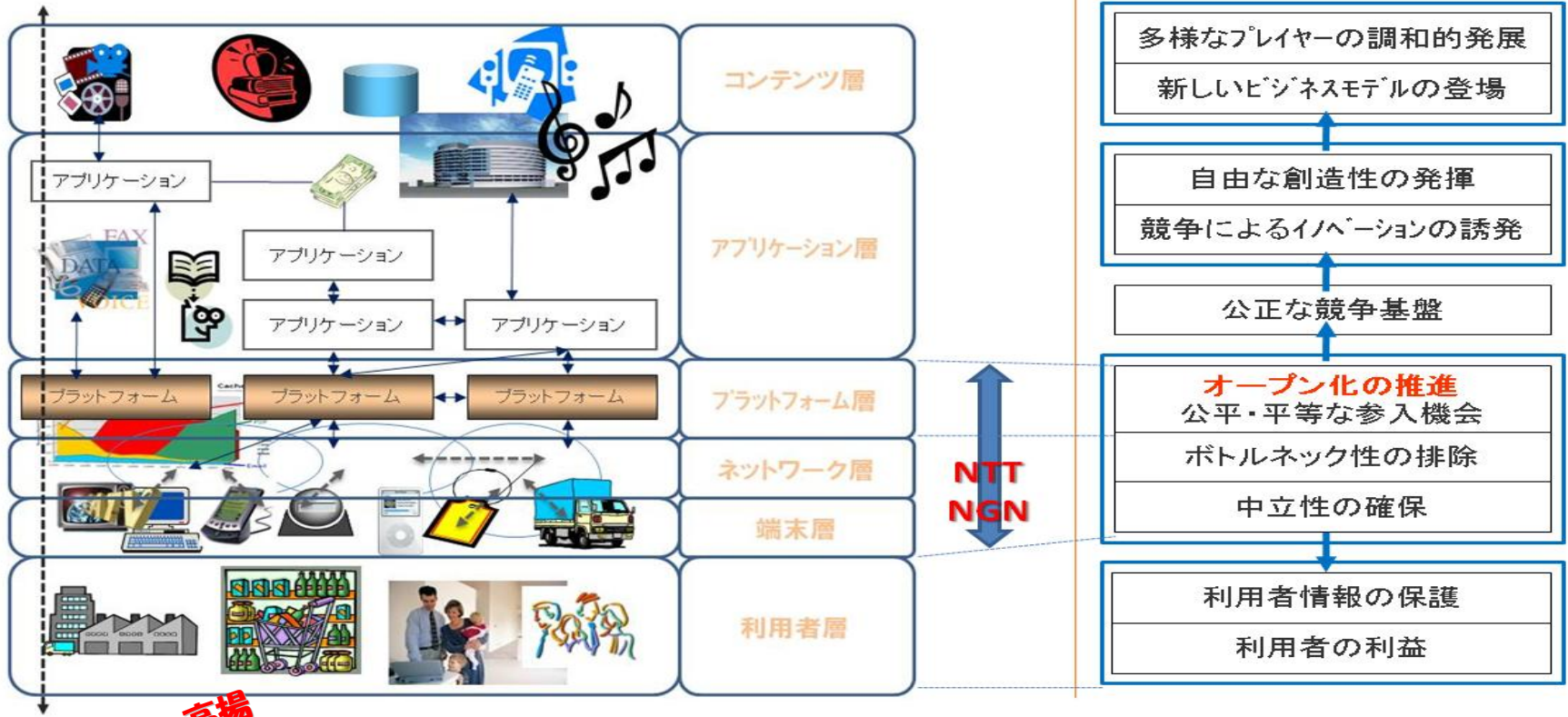
日本のベンチャー企業の海外への展開状況



プラットフォーム機能のオープン化

インターネットの枠組みを超えた
「分散・自律・協調」が創造する世界

発展のための枠組み



ICTマインドの醸成・高揚

- 他国に先んじて、早期に多くのプレイヤーによって、多様な新サービスを具体化し、実質的に国際標準をリードする
- そのためには、特にプラットフォーム機能のオープン化が重要であり、キャリアの能動的アクションを期待したい。
- 場合によっては、インフラとサービスの構造的分離も再考の価値ありとの考え方

地場企業の現状

1. 自社商品、技術などネットを通じて展開してみたいけど、技術もノウハウも、そしてお金もないな。
2. 業界毎に構築されている電子商取引に参加したいけれども、技術力もお金もないな。
3. 若手労働力がどんどん首都圏に行ってしまい、地元での雇用創出ができないままの状態だな。
4. 紙媒体や、個人の頭の中に、非常に優れたコンテンツがあるのに、それをネットに発信する能力もお金もないな。
5. 行政サービスの高度化は、徐々にではあるが進んでいるけど、地域の企業活動が活性化しないことには、発展しないよね。
6. サービス提供事業者としては、特定地域では市場が小さいし、新サービスへの投資はなかなか難しいな。

事業者主体のサービス構想

- 市場性(顧客の期待) : 共同センター化構想
- (1) 商品サービスのグローバルへの情報発信
 - ・企業によるB2Cビジネスの展開支援
 - ・英語でのサイト構築、コンテンツ制作
 - ・輸出入業務サービスなど
 - (2) 共同での電子商取引基盤サービス
 - ・EDIサービス
 - ・クラウドコンピューティング、SaaSなど
 - (3) 首都圏からのソフトウェア開発受託センター
 - (4) 地域コンテンツの制作、共有化とサービス化
 - ・アーカイブ化
 - (5) 地域SNS支援
 - (6) 顧客が自力で、コンテンツや情報をアップデートできるシステム
 - (7) 顧客間で情報交流、取引ができる機能

WBIC: Web Business Incubation Center(仮称)構想

考え方

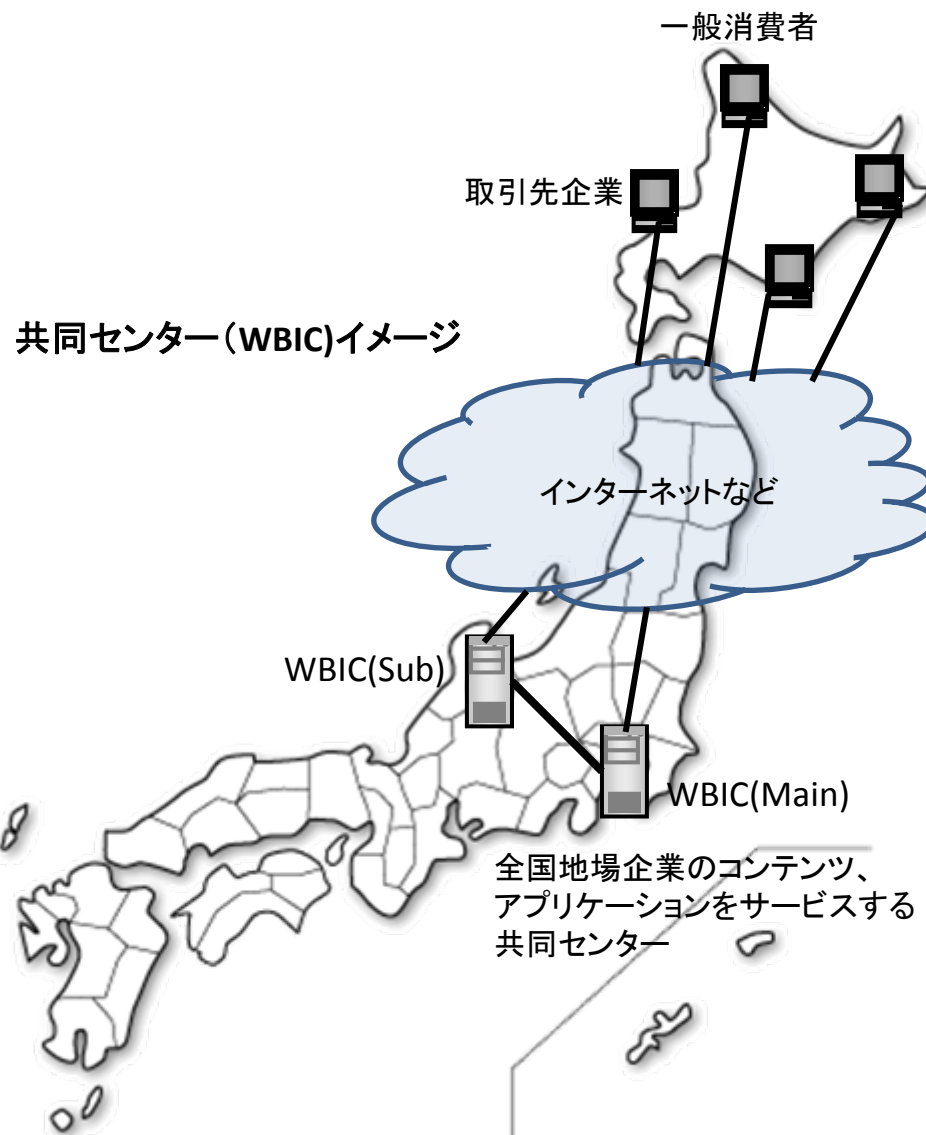
1. 地域におけるニーズ(市場)を確認し、そのニーズに合ったサービスを創造する。
2. 当面、地域経済が飛躍的に拡大することは望めないことから、まずは、ニーズを満たすと考えられるサービスに投資を行い、近い将来の地域活性化実現の結果として、事業者にもメリットがリターンされる展開としてとらえる。
3. その際、一地域における小エリアでの投資では、投資対効果の面でリスクが大きいことから、全国の事業者が共同でサービスを構築し、各事業者あたりの投資コストを軽減するとともに、事業リスクも軽減させる。

設立形態例

- ① WBICを全国に最低2拠点構築、運営する会社を、全国の事業者が共同出資する形態で設立する。
- ② その際、行政側には、なんらかの優遇措置をお願いする。
- ③ 各事業者は、WBICのサービスを、担当する地域内にて拡販することで収支バランスを確保する努力を行う。

今後の展開案

1. 協会の会員が協力し、各地域での市場確認、ニーズ掘り起こしの活動(FS活動)を行い、事業化の検討を行う。
2. 事業化の目処が立った段階で、具体的活動を開始する。



行政は、ICT分野での高度で、 強力な総合的施策立案機能を保有している

公的インフラの強化

縦割り行政からの脱皮！

各産業界、分野に共通したインフラに成長
コンピュータ、通信、放送の融合
データセンター、セキュリティなど含め、BCPがキーワード

我が国として 全体最適な公的システムが構築、運用されている

公的インフラの強化

国レベルの全体最適化へ

行政、自治体システムの国レベルでの統合化、効率化を目指す。
システム、ネットワーク、データセンターの共有によるサービス化
(SaaS化、クラウドコンピューティング化など)
民間システムとの連携が容易に

明るく元気の出るICT社会実現に向けたビジョン提言

しっかりした業界インフラと風土作りが大切である。
(ICTマインドの醸成と高揚)

サービスインフラの強化

技術者がいきいきと働ける業界である

- 3K/7Kイメージの払拭
- 運用技術者の雇用促進

世界一のサービス品質がグローバルに認知される

- サービス品質、顧客満足度の「見える化」、「可視化」

グローバルビジネス拡大への基礎固め

我が国の主要ベンダー、キャリアが、グローバルにビジョン発信を行い、技術・商品開発力もNO.1である

- グローバルにトップ自らビジョンを発信しビジネスを具体化する力

ベンチャー企業が思いっきり技術、商品、サービス開発ができ、グローバルにビジネス展開ができる

- グローバル経営の能力保持者の活躍の場形成
- 投資家、VCの改革

民間企業の活性化

多くのプレイヤーが多様なサービスを構築し競い合う

- ネットワークのオープン化推進
- インフラとサービスの構造分離

地域産業、地場企業が元気

- ICT活用によるビジネス拡大支援

公的インフラの強化

行政は、ICT分野での高度で、強力な総合的施策立案機能を保有している

- 縦割り行政からの脱皮

我が国として全体最適な公的システムが構築、運用されている

- 国レベルの全体最適化